

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年5月26日

化学物質等のコード :1636-9159

化学物質等の名称 :ふっ化水素カリウム
(酸性ふっ化カリウム)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 毒性物質、腐食性物質
危険性 : 本品不燃性
有害性 : 皮膚・眼を刺激し、炎症を起こす。失明することがある。誤飲すれば悪心、嘔吐、腹痛、下痢、昏睡、衰弱、痙攣、虚脱死に至る。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ふっ化水素カリウム
成分及び含有量 : 99%以上(単品)
化学式または構造式 : KHF_2
分子量 : 78.10
官報公示整理番号(化審法): 1-322と1-306の複塩
(安衛法): 化審法既存1-322と1-306の複塩
CAS No. : 7789-29-9

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 接触した身体部位を水で洗い流す。
汚染した衣類類は洗い落としてから着用する。
飲み込んだ場合 ミルク等飲ませそれと共に吐かせる。必要な場合は速やかに医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 本品不燃。
消火剤
火災の時は火から遠ざける。間に合わぬ場合容器に水を掛け冷却する。
消火活動時、保護具及び空気呼吸器着用。

6.漏出時の措置

空容器に出来るだけ回収する。その後大量の水で洗い流す。要排水処理。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
作業終了時身体を洗う。酸性フッ化カリウムの付着した衣類等は洗濯しておく。
保管上の注意
密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会
ACGIH 2.5 mg/m³(as F)

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
- ・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

- ・粉塵マスク、保護眼鏡、ゴム手袋

9.物理的及び化学的性質

融点 238.8 分解
沸点
水溶解度 41g/100g(21)
密度 2.37

10.安定性及び反応性

引火点 なし
爆発範囲 なし
安定性・反応性 空気中で強熱するとHFガスを発生。
発火点 なし

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 : LD₅₀(経口) モルモット 150 mg/kg
LD₅₀(皮下) モルモット 250 mg/kg/Hr
その他の毒性 : フッ素慢性毒性(斑状歯、フッ素骨沈着等)
刺激性 : 皮膚・眼を刺激し、炎症を起こす。
がん原性 : OSHA、NTP発がん性物質リストに記載なし。
IARC発がん性物質リストの分類 ×

12.環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13.廃棄上の注意

塩化カルシウム溶液と消石灰で処理、沈殿物埋め立て処分。
上澄液はpH 5.8~8.6, F:15 mg/L以下として排水。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)
輸送に関する国際規制
陸上輸送 : データなし
海上輸送 : データなし
航空輸送 : データなし
国連分類番号 : 8.腐食性物質
国連番号 : 1811

15.適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び
管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)別表第一 283
労働安全衛生法施行令等の一部改正
第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」 485
危規則・港則法(腐食性物質)
水質汚濁防止法(F)

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。